

第22回宇美町少年・少女の主張大会最優秀賞 令和3年度「青少年の声」標語最優秀賞・優秀賞作品

宇美町青少年育成町民会議主催の下記事業の最優秀賞作品を掲載します。
今月は小学生の部です。

「宇美町少年・少女の主張大会」とは

子どもたちに、広い視野をもって論理的に物事を考える力や自分の主張を正しく理解してもらう力、柔軟な発想力や創造力などを身につけてもらうことを目的としています。



温かく見守り応援する

宇美小学校 6年 近藤 瑚々

「GO, Fight, win!」「元気! 勇気! 笑顔!」
これは、私が習っているチアリーディングの時のかけ声です。
私は、この言葉を聞くとがんばろうという気持ちになります。
でも、それらの言葉と正反対の言葉があります。それは、「非行」という言葉です。人権ということについて考えるために資料を見ている時に見つけた「非行」という言葉の意味が気になって、インターネットで調べてみました。
検索してみると、「違法行為、あるいは違法でなくても、習慣的規範に照らして反社会的とみなされる行為」とのことでした。
非行というのは、社会のルールを守らなかったり、人がめいわくなることをしたりすることだと分かりました。
「なぜそんなことをするんだろう。」と思った私は、さらに調べてみることにしました。そうするとインターネットには、非行に走ってしまった中学生とそうではない一般の中学生にとったアンケートの結果を比べている資料がありました。
「家庭のふんい気は温かい」という質問に「温かい」と答えた非行少年は、一般の中学生と比べて、9.3パーセントも少ないそうです。また、「親は私のことを信頼している」という質問に「信頼している」と答えた非行少年は、一般の中学生と比べて12.6パーセントも少ないそうです。
この資料から私は、非行に走ってしまう理由として、家庭のふんい気が温かいと感じていないことや親から信頼されていないと感じていることが大きく関わってくるのではないかと思います。
「それでは、非行という悲しい行動をなくすためには、どんなことが大切なのだろうか。」と考えてみました。

私は、温かく見守られていることが大切だと思いました。温かく見守るということは、不安なことや困ったことがあった時は助けたり、相談にのってアドバイスをしたり、いっしょにそのことに立ち向かったりすることだと思います。そして、そのがんばりを認めて応援することだと思います。
私は、チアリーディングという習い事をしています。練習をする時には、元気にあいさつをしたり、笑顔で演技をしたりしています。そうすることで、みんなのふんい気が明るくなって楽しい気持ちになります。逆に、あいさつをしなかったり、笑顔をなくしたりすればみんな暗くなってしまいます。私は、チアリーディングを通して元気にあいさつをしたり笑顔でいたりすることが、みんなを明るくふんい気にすることができるということに気づきました。
また、チアリーディングは、人を応援するスポーツです。かけ声の中にある「元気! 勇気! 笑顔!」は、応援されている人に元気や勇気を与えて笑顔になってもらえるようにという願いを込めてかけています。応援をした人が元気になっているところを見ると私も元気になるし、うれしくなります。
私は、チアリーディングを通して、あいさつや笑顔の大切さを知ることができました。
応援することで、人に元気や笑顔を与えることができることも分かりました。
親が応援して温かく見守り、子どもががんばるそんな毎日を通じることができれば、非行に走る人は少なくなると思います。
私は、「元気! 勇気! 笑顔!」がいっぱいになるように、チアリーディングの練習をがんばって一人でも多くの人を応援していきたいと思っています。

「青少年の声標語」とは

「学校・地域・家庭」をテーマに、「ふるさと・宇美町」の未来について、それぞれの学年の学習や体験に応じた内容を20文字以内で表した作品です。

宇美小学校

優秀賞 2年 田川 咲菜さん
がんばれる 言ばをみんなに つたえよう
最優秀賞 5年 清田 陸さん
僕らの手で作るんだ 未来の笑顔 未来の社会

宇美東小学校

優秀賞 2年 土山 優結さん
おはようと みんなのこえで ひろがるえがお
優秀賞 4年 藤木 瑛斗さん
言葉使いは心つかい 自分の言葉きもちよく

井野小学校

最優秀賞 1年 大家 ひなたさん
やさしさで みんなのみらいを まもろうよ

原田小学校

優秀賞 2年 峰 蘭花さん
あいさつで せかいのみんなと 友だちに
優秀賞 6年 石川 美尋さん
思いやり みんなを笑顔に 変えていく

桜原小学校

優秀賞 2年 古屋 暁人さん
だいじょうぶ 言ったらところが ぼっかぼか
優秀賞 4年 藤川 稔生さん
ぼくたちが バトンを受けて つなぐよ未来

優秀賞 6年 大里 武さん
自然の恵み大切にして 笑顔広がる 子安の町へ

「薬草栽培」による農業所得向上 および地域活性化対策

町では、平成28年度から薬草を含めたさまざまなハーブを総称した「うみまちハーブ」を栽培し、農業問題の解決を図る町の政策を推進しています。



▲宇美町薬用作物生産部会の皆さん

具体的な取組

町内の耕作されていない農地や山間部に面した農地に条件にあった「うみまちハーブ」を栽培しています。特殊な農機具は不要で軽作業が多いため、女性や高齢者でも栽培が可能です。現在は栽培面積拡大を図り組織化された「宇美町薬用作物生産部会」として取り組んでいます。

令和3年度は、宇美町薬用作物生産部会が「うみまちハーブ」の付加価値を高めるために「JASオーガニック」の認証取得をし、今後は商品化を目指します。



詳しくは町ホームページやFacebookをご確認ください。
<https://www.town.umi.lg.jp/soshiki/40/25107.html>



商工会青年部主張発表 全国大会に出場!!

12月7日(火)、久留米市で開催された令和3年度商工会青年部主張発表全国大会に、九州代表として宇美町商工会青年部の小林孝昭さんが出場しました。

事業のテーマとして大切にされている「子育て」に関連する町の魅力、宇美町商工会青年部の仲間や地域への想いなどを全国に発信されました。

小林さんは全国大会までを振り返り、「全国大会の発表までの2年間を共に頑張ってきた各ブロックの代表者と互いに鼓舞し激励し合ってきたので、発表が終わったときは皆で喜びを分かち合うことが出来ました。貴重な経験、そして大事な思い出となりました。この経験をバネにして今後の活動にも繋げていきたい。」と話しています。宇美町商工会青年部の今後の活躍に注目です!



▲ステージ上で想いを発信する小林さんの様子